(適用範囲)

第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約は、この宿泊約款の定めるところによります。

(宿泊契約の申込み)

- 第2条 1 当館に宿泊契約の申込みをしようとする方には、次の事項を当館に申し出て頂きます。
 - (1) 宿泊者氏名
 - (2) 宿泊日
 - (3) 宿泊料金 (原則として別表第1の基本宿泊料による。)
 - (4) a 申込者及びその連絡先
 - b 宿泊料金の支払い者及びその連絡先
 - (5) その他当館が必要と認める事項
 - 2 宿泊客が、宿泊中に前項(2)の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合には、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 1 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾した時に成立するものとします。
 - 2 宿泊契約が成立した時は、宿泊期間(3日を超える時は3日間)の基本宿泊料を限度として当館が定める 申込金を当館が指定する日までにお支払い頂きます。
 - 3 申込金は、まず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条又は第18条が適用される事態が生じた 時は違約金、次いで賠償金に充当し、残額があれば第12条の規定による料金の支払いの際に返還致します。
 - 4 申込金を当館が指定した日までにお支払い頂けない場合は、宿泊契約は当然にその効力を失うものと 致します。

(申込金の支払いを要しない事とする特約)

- 第4条 1 当館は前条第2項の規定に関わらず申込金の支払いを要しない事とする特約に応じる事があります。
 - 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条2項の申込金の支払いを求めなかった場合には、 前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当館は、次に掲げる場合には、宿泊契約の締結に応じない事があります。

- (1) 満室により客室の余裕がない場合。
- (2) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められる場合。
- (3) 宿泊しようとする者が、暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又はその関係者、その他反社会的勢力であると認められる場合。
- (4) 宿泊しようとする者が法人で、その役員の内に暴力団員に該当する者があると認められる場合。
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。
- (6) 宿泊しようとする者が、宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求した時、又はかつて同様な行為を行ったと認められる場合。
- (7) 宿泊に関し、合理的な範囲を超える負担を求められた場合。
- (8) 天災、施設の故障、その他止むを得ない事由により宿泊させる事が出来ない場合。
- (9) 宿泊しようとする者が、伝染性の疾病にかかっていると明らかに認められる場合。
- (10) 都道府県旅館業法施行条例の規定する場合に該当する場合。
- (11) その他全各号に準じる事由がある場合。

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 1 宿泊客は、当館に申し出て宿泊契約を解除する事が出来ます。
 - 2 宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した時は、当館は別表第2に 掲げる違約金を申し受けます。
 - 3 宿泊客が宿泊日当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている時は、明示された時刻を2時間経過 した時刻)になっても到着しない時は、宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなして処理する事が あります。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条 1 当館は、次に掲げる場合においては宿泊契約を解除する事があります。
 - (1) 第5条各号の事由がある場合。
 - (2) 当館のご利用規則に従わない場合。
 - 2 当館が前項の規定により宿泊契約を解除した時は、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金は頂きません。

(宿泊の登録)

- 第8条 1 宿泊客には宿泊当日、当館のフロントにおいて次の事項を登録して頂きます。
 - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所および職業
 - (2) 外国人にあっては国籍、旅券番号、入国地および入国年月日
 - (3) その他当館が必要と認める事項
 - 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうと する時は、あらかじめ前項の登録時にそれらを呈示して頂きます。
 - 3 外国人にあってはご本人確認の為に旅券を呈示して頂きます。

(客室の使用時間)

第9条 1 宿泊客が当館の客室を使用出来る時間は次の通りとします。ただし、連続して宿泊する場合には到着日および出発日を除き、終日利用する事が出来ます。

午後 3 時 から 翌日午前 11 時 まで

- 2 当館は、前項の時間外の客室の使用に応じる事があります。この場合は次に掲げる追加料金を 申し受けます。
 - (1) 午後1時まで 室料金の30%
 - (2) 午後3時まで 室料金の50%
 - (3) 午後3時すぎ 室料金の100%

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客には当館内においては当館が定めた利用規則に従って頂きます。

(営業時間)

- 第11条 1 当館の主な施設等の営業時間は、備え付けのパンフレットや客室内外の掲示等でご案内致します。
 - 2 前項の営業時間は臨時に変更する事があります。この場合には適当な方法でお知らせ致します。

(料金の支払い)

- 第12条 1 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
 - 2 前項の宿泊料金等は、現金又は当館が認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客のチェックインの際又は当館が請求した時に支払って頂きます。
 - 3 当館が宿泊客に客室を提供してその使用が可能になった時は、宿泊客が任意に宿泊しなかった時でも 宿泊料金を申し受けます。

- 第13条 1 当館が宿泊契約の履行に当たり宿泊客に損害を与えた時は、当館の責めに帰すべき事由がある場合に限りその損害を賠償します。
 - 2 当館は消防設備の整備に努めている他、万一の火災等に対処する為、旅館賠償責任保険に加入して おります。

(契約した客室の提供が出来ない時の取り扱い)

第14条 当館が契約した客室を宿泊客に提供出来ない時は宿泊客の了解を得て、出来る限り同一の条件による 他の宿泊施設を斡旋するものとします。

(寄託物等の取り扱い)

- 第15条 1 当館においては宿泊客のいかなる物品、現金又は貴重品をお預かりする事は出来ません。 宿泊客自身で大切に保管下さい。
 - 2 宿泊客が当館内にお持ち込みになった物品、現金又は貴重品において、当館はその滅失、 毀損等が起こってもそれに関わる一切の損害賠償を致しません。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 1 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に通知を受けた時に限り責任を 持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡し致します。
 - 2 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合に おいて、その所有者が判明した時はその指示を求めるものとします。但し、所有者の指示が無い場合又は 所有者が判明しない時は発見日を含め7日間保管し、その後は法令の定める手続きをとらせて頂きます。

(駐車の責任)

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合又は敷地内に駐車される場合、車両のカギを預けられたか どうかに関わらず、当施設は車両の管理責任を負担致しません。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被った時は、当館は当該宿泊客に損害賠償を請求 致します。

(個人情報保護方針)

第19条 当館は個人情報の取り扱いについて個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の適切な保護に 努めます。その為、個人情報保護に関するマネジメントシステムを策定し維持すると共に継続的な改善に 努めます。

> 詳しくは「Umito Voyage Atami 個人情報保護方針」に記しております。 閲覧をご希望する場合はいつでもお問合せ下さいませ。

別表第1 宿泊料金等の内訳

(第2条第1項及び第12条第1項関係)

内訳				
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料 (室料、飲食料)		
	追加料金	②飲食料 ③その他の利用料金		
	税 金	④消費税⑤入湯税⑥該当施設を管轄する都道府県が 定める地方税		

※備考 税法が改正された場合はその改正された規定による ものとします。

別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

契約解除の通知を 受けた日		不	当	前	7 日	14 日
契約 申込人数		泊	日	日	前	前
- 般	6名まで	100%	100%	80%	30%	
寸	7名~11名まで	100%	100%	100%	60%	30%
体	12名以上	100%	100%	100%	60%	50%

※注 1. %は基本宿泊料に対する違約金の比率です。

- 2. 契約日数が短縮した場合はその短縮日数に関わりなく、全日分を収受します。
- 3. 当館の定めた特定日に関しましては別途違約金が発生する場合がございます。
- 4. 違約金は宿泊契約の室数・人数・期間等の減についても適用され、ご予約頂いている延べ部屋数が対象となります。

記

1. 貴重品

ご滞在中、現金、有価証券、貴金属その他の高価品は宿泊客ご自身の責任下において大切に保管下さい。 万一室内における紛失又は盗難等によって損害が発生した場合でも賠償致しかねますのでご承知下さい。 尚、美術品、骨董品等の品物も同様にお預かり致しかねます。

2. 部屋の施錠

- 1) ご滞在中、お部屋から出られる際は施錠をご確認下さい。
- 2) 在室中及び就寝の際は必ず部屋の施錠をご確認下さい。
- 3. ご来訪者

ご訪問客と客室内でのご面会はご遠慮願います。(あんま・マッサージ含む)

4. 客室内

1) 客室内は全室禁煙となっており、定められた場所以外での喫煙はご遠慮下さい。

喫煙は所定の場所でお願い致します。万一所定の場所以外での喫煙により火災等の事故が起きた場合はその 全責任をお客様にご負担頂き、その損害に掛かる全てを賠償して頂きます。

また当ホテル施設内(指定喫煙場所を除き)は全て禁煙のため、客室内もしくは施設内で喫煙が確認できた場合は喫煙による客室クリーニング代及び客室販売売り止めにかかる費用を賠償して頂きます

- 2) 客室よりの避難経路図は客室内に掲示しておりますのでご確認下さい。
- 3) 客室を当館の許可無く営業行為又は集会行為(展示会パーティその他)、事務所等の宿泊以外の目的に ご使用なさらないで下さい。
- 4) 当館の許可無く客室内の備品を移動したり持ち出したり、又は客室内に造作を施し、或いは改造したり しないで下さい。

5. お預かり物

お預かり物の保管期間は特にご指定のない限り下記の通りと致します。保管期間を経過したお預かり物は、法令の 定める手続きを取らせて頂きます。

フロントにてのお預かり物 ・・・・・・・・・ 1週間

- 6. 当館内では他のお客様の迷惑になる下記の物の持込又は行為はご遠慮願います。
 - 1) 犬・猫・小鳥その他の愛玩動物(但し厚生労働大臣が認可した補助犬は除く)
 - 2) 発火または引火性の物、悪臭を発する物
 - 花火・お香・線香・ローソク類など火災の原因となるような物品、臭気が強く残る物
 - 4) その他法令で所持を禁じられている物
 - 5) 賭博や風紀を乱す様な行為又は他のお客様の迷惑になる様な言動
 - 6) パジャマ、バスローブ等で客室外に出られる事
 - 7) 備付品の移動又は使用目的以外のご利用
 - 8) 広告、宣伝物の配布、物品の販売勧誘等
 - 9) 未成年者のみのご宿泊は特に保護者の許可の無い限りお断りさせて頂きます。
 - 10) お忘れ物、遺失物の処理は法令に基づいてお取扱い致します。

(Scope of Application)

Article 1

- 1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Facility and the Guest to be accommodated shall be subject to these General Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and / or generally accepted practices.
- 2. In the case when the Facility has entered into a special contract with the Guest in so far as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, not withstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these General Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2

- 1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation with the Facility shall notify the establishment following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s)
 - (2) Date of accommodation
 - (3) Accommodation charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1.)
 - (4) a. Name of offeror and contact address.
 - b. Name of payer and contact address.
 - (5) Other particulars deemed necessary by the facility.
- 2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3

- 1. the application as stipulated in the preceding Article. However, shall not apply where it has been proved that the facility has not accepted the application.
- 2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Facility within the limits of Basic Accommodation charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the facility.
- 3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the Cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- 4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Facility shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Facility when the period of payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4

- 1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the facility may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- 2. In the case when the Facility has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and / or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the facility has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5

- 1. The Facility may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under these following case:
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these General Conditions.
 - (2) When the Facility is fully booked and no room is available.
 - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner there will contravene the law or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
 - (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
 - (5) When the Facility is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
 - (6) When the Facility is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and / or other unavoidable causes.
 - (7) When the provisions of prefectural and city government ordinance concerning the enforcement of the Facility Business Law is applicable.
 - (8) When the Guest is deemed to be a member of organized crime group, a group or person affiliated to an organized crime group, or other antisocial party.

(Right to General Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6

- 1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Facility.
- 2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Facility has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- 3. In the case when the Guest does not appear by 22:00 of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Facility is notified of it) without an advance notice, the Facility may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the establishment)

Article 7

- 1. The Facility may cancel the accommodation contract under these following cases:
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct and / or have conducted himself of a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation.
 - (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease.
 - (3) When the Facility is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
 - (4) When the Facility is unable to provide accommodation due to natural calamities and / or other causes of unavoidable force.
 - (5) In case of the Guest is deemed to be an organized crime group, a group or person affiliated to an organized crime group.
 - (6) When the provision of Article 4 of the prefectural Ordinance concerning the enforcement the hotel Business Law are applicable.
 - (7) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations by the facility (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).
 - (8) Any other cases, the establishment judged informal (when the facility judged the action may cause trouble with oth guests).
- 2. In case when the Facility has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the facility shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

(Registration)

Article 8

- 1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the facility on the day of a accommodation;
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest.
 - (2) Nationality, passport number, port and date of entry in Japan.
 - (3) Other particulars deemed necessary by the facility.
- 2. In case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as coupons or credit cards, these credentials, shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.
- 3. A photocopy of your passport must be taken when you check-in.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9

- 1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Facility from check in to check out the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, expect for the days of arrival and departure.
 - Check in time / 3:00p.m. Check out time / 11:00am
- 2. The Facility may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 1:00p.m.: 30% of the room charge(2) Up to 3:00p.m.: 50% of the room charge(3) After 3:00p.m.: 100% of the room charge

(Observance of Use Regulations)

Article 10

1. The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hostel, which are posted within the premises of the facility.

(Business Hours)

Article 11

- 1. The business hours of the main Facilities, etc. of the establishment are as follows, and those of other Facilities, etc. s notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.
- 2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary charges due to unavoidable causes of the facility. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12

- 1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.
- Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid either Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the Facility at the front desk at the time of the arrival of the Guest.
- 3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation Facilities provided for him/or her by the Facility and at his/or her disposal.

(Liabilities of the Facility)

Article 13

- 1. The Facility shall compensate the Guest for the damage if the Facility has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and / or related agreements. However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons for which the Facility is not liable.
- 2. Even though the Hostel has received the "PASS MARK" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), the Hostel is covered by the Facility Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and / or other disasters.

(Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 14

When the Facility unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15

- 1. The Facility shall not compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables of the Guest. The Guest shall be liable to keep their belongings, cash and valuables.
- 2. The Facility shall not compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused.

(Custody of Baggage and / or Belongings of the Guest)

Article 16

- 1. When baggage of the Guest is brought into the Facility before his/or her arrival, the Facility shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Facility. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his/or her check-in.
- 2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his/or her check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Facility shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instructions is given to the Facility by the owner or when the ownership is not confirmed, the Facility shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Facility will hand it in accordance with the law

(Liability in regard to Parking)

Article 17

The Facility shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Facility, as it shall be regarded that the Facility simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Facility or not.

(Liability of the Guest)

Article 18

The Guest shall compensate the Facility for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

(Privacy Policy)

Article 19

Umito Voyage Atami recognizes importance for protection of privacy In order to do so, privacy protection management system is formulated and maintained, and will be continuously improved. For the details, refer to "Umito Voyage Atami Privacy Protection Policy".

Privacy Protection Policy booklet is also available at the time.

Attached Table No.1

The breakdown of Accommodation Charge, etc. for Facility

(Ref. Paragraph 1 of Article 2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

Contents						
	Accommodation charges	①Basic Accommodation Charge (Room or Bed charge)				
Total Amount to be paid by the Guest	Extra charges	②Meals and drinks, (or extra meals and drinks), and other expenses ③Others				
	Tax	4 Consumption Tax5 Others				

Note: When the tax law is revised, the new one will be applied.

Attached Table No.2

Cancellation Charge for Facility (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

	Contracted		Group	
Date	Number of guests	1	7	12
when cancellation of		to	to	and
		6	11	more
No show		100%	100%	100%
Accommodation day		100%	100%	100%
1 day prior to accommodation day			100%	100%
7 days prior accommodation day	30%	60%	60%	
14 days prior accommodation day			30%	50%

Remarks 1. The percentages signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.

- 2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charges for its all days shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
- 3. The above conditions are subject to change without notice.
- 4. The number of the total of beds having you reserve cancellation charges becomes an object.
- 5. Cancellation charges are applied not cancellation of the whole group in the case of partial cancellation and decrease bed.

RULES ON UTILIZATION

1. VALUABLES

Please place your cash, securities, jewelry or other valuables in the Safe Deposit Box available at no charge in the guest room. The Facility shall neither be liable nor responsible for any loss or damage of any cash, securities, jewelry or other valuables. The Facility will not keep art objects or antiques etc.

2. GUEST ROOM NUMBER

- 1. Please make sure that the door of your room is locked when leaving the room.
- 2. Please be sure to lock the door while in your room.

3. VISITORS TO THE GUEST ROOMS

1. Please do not invite visitors including any type of massage service into your room.

Notify FRONT DESK immediately of any unusual occurrences or any unidentified persons loitering around.

4. GUEST ROOMS

1. All rooms are Non-Smoking. The Guest shall compensate the Facility for all the damages caused by smoking in non smoking area. Please smoke at designated area.

The Guest shall compensate the Facility for the dameges cleaning The Guest room and the charge during suspension of sell.

- 2. For Emergency Exit please see instructions affixed on the inside of the Guest room.
- 3. Please do not use the Guest room as an office, private party, or for other activities.
- 4. Please do not alter the room furnishing and do not bring up, install any additional furniture or fixtures without the consent of the Facility.

5. UNCLAIMED ARTICLES

Articles held at the Facility Front Desk shall be kept for the duration as stated below:

At the Front Desk ······ valid for a week

6. Please do not bring in or indulge in anything that may cause a disturbance to other guests of the Facility such as listed below:

- 1. Dogs, cats, birds and other animals or pets.(service dogs are not included)
- 2. Explosive substance and inflammables, and substance to give out bad smell.
- 3. Flammable and odorous articles such as fireworks, incense and candles.
- 4. Any substances or articles whose possession is prohibited by the laws of Japan.
- 5. Do not conduct gambling or other acts which may be offensive to public order and morals in the premise of the Facility.
- 6. Wear pajamas bathrobe and slippers in your room only, not in public areas.
- 7. Alteration or rearrangement of the Facility furnishings or furniture and misuse of them.
- 8. Please do not use the Facility for soliciting business of any type (distributing pamphlets or selling commodities
- 9. Minors are not allowed to stay at this Facility without the consent of their parents or guardians.
- 10. Not to order meals or drinks from outside the Facility.
- 11. Articles left behind, and unreported will be disposed by the Facility in accordance with established regulations.

THIS CONTRACT IS WRITTEN IN BOTH JAPANESE AND ENGLISH. HOWEVER IF THERE ARE DISCRIPANCIES OF DIFFERENCES BETWEEN THE JAPANESE-AND ENGLISH-LANGUAGE CONTRACTS, THE JAPANESE SHALL TAKE PRECEDENCE IN ALL CASES.